

## 学会ニュースNo.113 トピックス

- ・2015年度(第70回)総会・研究発表大会のご案内
- ・2015年度立正地理学会評議員会のお知らせ
- ・秋季例会(東京)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第1報)
- ・第38回秋季例会報告
- ・立正地理学会研究委員会の募集(新規)
- ・地理学教室だより
- ・今年度卒業予定の学生会員の皆様へ
- ・会費納入のお願い

## 会告

### ○2015年度(第70回)総会・研究発表大会のご案内

2015年度(第70回)総会・研究発表大会を下記の要領にて開催いたします。

#### 記

1. 日時:2015年6月6日(土)9:00(予定)より
2. 会場:立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A204 教室(予定)  
(当日、校内に案内を掲示いたします)
3. 総会委任状について  
次号の学会ニュースに総会委任状を同封します。
4. 昼食  
学生食堂が営業しております。
5. 懇親会
  - 1)会場:立正大学熊谷校舎学生食堂(ステラ)
  - 2)会費:一般 4,000 円・学生 2,000 円(予定)
  - 3)時間:17:00~19:00(予定)
6. 研究発表について
  - 1)申し込み  
発表希望者は、3頁の発表申込用紙に所定事項を記入の上、2015年4月19日(日)までに集会委員会宛に、郵送またはメールでお申し込みください。メールでお申し込みの際は、申込用紙と同一の内容を記載して [geosoc@ris.ac.jp](mailto:geosoc@ris.ac.jp) まで送信してください。

## 2) 形式

口頭発表とポスター発表があります。いずれかを選択してください。

### ●口頭発表

発表時間 15 分、質疑応答 5 分の計 20 分です。

会場には、パソコンと液晶プロジェクターが用意してあります。プレゼンテーションソフトは Windows 版 PowerPoint2013 です。発表用のファイルは、Windows で読み込めるフォーマットの USB メモリーに保存し、当日会場へご持参ください。なお、スライドや OHP の利用をご希望の方は集会委員会まで予めご相談ください。当日の申し出では、準備できない場合があります。

### ●ポスター発表

コアタイムとは別に 1 分程度の口頭による内容紹介を行っていただきます。

ポスターのサイズは A0 縦 (短辺 841 mm, 長辺 1,189 mm) サイズまでです。

## 3) 要旨

発表者は要旨を必ずご提出ください。要旨は『地域研究』に掲載いたします。執筆要領は大会当日に編集委員会の受付で配付いたします。大会後、期日までにご提出ください。なお、発表要旨集は作成しません。

## 4) 配布資料

発表者は必要に応じて配布資料をご自身で印刷し、ご持参下さい。

## 7. 地理写真の募集

### 1) 申し込み

希望者は、3 頁の申込用紙に所定事項を記入の上、2015 年 4 月 19 日(日)までに集会委員会宛に、郵送またはメールでお申し込みください。メールでお申し込みの際は、申込用紙と同一の内容を記載して [geosoc@ris.ac.jp](mailto:geosoc@ris.ac.jp) まで送信してください。

### 2) 様式

地理写真のサイズは、A1 縦(短辺 594 mm,長辺 841 mm)サイズまでです。大会当日に所定の場所へ展示し、大会終了後は各自でお持ち帰りください。写真の大きさ・枚数・貼り方は自由です。写真には内容・場所・撮影日時などのキャプションを付記願います。

## 8. 研究発表大会プログラム・会場案内について

次号学会ニュース(2015 年 5 月発送予定)、ならびに学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp/>)に掲載いたします。

## 9. 展示について

地理関係出版社の出版案内や図書販売が行われる予定です。

## 10. 災害等により開催が困難な場合の対応

地震や台風またはその他のやむを得ない理由によって大会の開催が困難な場合は、立正地理学会ホームページ(<http://geo.rissho-map.jp/>)または立正大学地理学科ホームページ(<http://rissho-map.jp/>)でお知らせいたします。

2015年3月

2015 年度 研究発表大会 発表申込用紙

・発表者氏名・所属(共同発表の場合は、発表者に○印をつけて下さい)
・発表題目:
・発表形式(↓いずれかを○でかこんで下さい) 口頭発表 ・ ポスター発表
・連絡先 氏 名:  住 所:〒           —  電話番号:           —           —           ( 自宅 ・ 勤務先 ) E-mail:

2015 年度 地理写真申込用紙

・氏名(所属)
・テーマ:
・連絡先 氏 名:  住 所:〒           —  電話番号:           —           —           ( 自宅 ・ 勤務先 ) E-mail:

※申込用紙をコピーしてご利用いただくか、立正地理学会ホームページからファイルをダウンロードしてください。

## ○2015 年度立正地理学会評議員会のお知らせ

2015 年度立正地理学会評議員会を下記の要領にて開催いたします。

### 記

1. 日時: 2015 年 6 月 5 日(金)18:00 より
  2. 場所: 立正大学熊谷校舎アカデミックキューブ A610 会議室(予定)
  3. 議題: 1. 2014 年度事業報告の件  
2. 2014 年度決算報告の件  
3. 2015 年度事業計画案の件  
4. 2015 年度予算案の件  
5. その他(他に議題のある評議員の方は、集会委員会までお知らせ下さい。)
- 詳細については、次号学会ニュースにて評議員の方に同封するご案内をご覧ください。

## ○秋季例会(東京)・講演会・臨地研究会開催のお知らせ(第 1 報)

10 月下旬から 11 月上旬に東京都内で開催予定です。鹿児島県での開催を予定しておりましたが、都合により東京都内での開催に変更いたしました。鹿児島県での開催は 2016 年度を予定しております。何卒ご容赦ください。

## ○第 38 回秋季例会報告

去る 2014 年 11 月 22 日(土)、第 38 回秋季例会が立正大学品川キャンパス 11 号館内の教室において開催された。例会はシンポジウム形式、テーマは「動態地誌と諸地域学習—立正の地理教育が目指すもの—」であった。当日の参加者は約 50 名。

鈴木厚志集会委員長より趣旨説明があり、続いて竹内裕一氏(千葉大教授)による基調講演、立正大学の内山幸久教授と島津弘教授による教科書執筆者報告がそれぞれ行われた。続いて関寿子茗溪学園中学高校教諭、常井仁美県立津山高校教諭、小泉啓三市立船橋高校教諭による授業実践報告が行われた。授業実践報告を行った3名はいずれも立正大学地理学科に学んだ若手の現職教諭であり、自らの実証に基づいて内容の教材化を試みていた。最後は県立筑紫丘高校校長の上原洋祐教諭司会のもと、全報告者と会場参加者により総合討論が行われた。総合討論では、「動態地誌」と「諸地域学習」という二つのキーワードをめぐり、その内容や教材化にあたっての問題点、実際の授業における取り上げ方等が焦点となった。さらに、キーワードと立正地理との関係にも議論が及び、活発で印象深い討論となった。

この度の秋季例会にご協力いただいたすべての先生方、そして総合討論に参加いただいた会員の皆様に心より御礼申し上げます。

(集会委員 鈴木厚志)

## ○立正地理学会研究委員会の募集(新規)

2015年度の研究委員会を募集します。希望者は下記に示した「立正地理学会研究委員会に関する規程」を熟読の上、規程の5の内容を明記した趣旨書を、島津常任委員長宛(当面の間、常任委員長扱いとします)に郵送(住所等は最終ページに記載してあります)、またはメール(アドレス:geosoc@ris.ac.jp, 件名:立正地理学会研究委員会応募)で提出して下さい。2015年4月15日(水)を締切日と致します。応募件数が多い場合は調整することがあります。

### 立正地理学会研究委員会に関する内規

1. 研究委員会の設置:立正地理学会に、研究委員会をおくことができる。
2. 目的:研究委員会は、地理学の研究・教育に資する成果を挙げることを目的とし、その調査・研究に対して、学会より研究費を補助する。
3. 研究委員会の所轄:研究委員会の募集・決定・審査・成果の開示等に関する一連の管轄は、副常任委員長が行う。
4. 研究委員会の募集:副常任委員長は前年度の秋に発行される学会ニュースにおいて、研究委員会の募集、書類の提出期限について告知する。同内容は学会ウェブサイト上でも告知する。なお、書類の提出期限は、当該年度初めとし、前年度末に発行される学会ニュースでも再度募集の告知をする。
5. 研究委員会の設立:研究委員会の設置を希望する会員は、研究委員会の代表者となり、研究テーマ、会員名、研究委員会成立後の追加募集人員、研究期間、研究の目的、予測される成果を明記し、決められた期限までに副常任委員長に提出する。なお、研究委員会は設立時に3名以上で組織する。また、学生会員も代表となることができるが、研究委員会には1名以上の一般会員を含むものとする。
6. 研究委員会の成立:副常任委員長は、申請内容に基づき研究委員会の成立の可否を常任委員とともに検討し、その結果を代表者に伝える。
7. 研究委員会成立の説明と委員の追加募集:副常任委員長は、成立した研究委員会の代表者名、研究テーマ、研究期間、追加募集人員等を当該年度の総会で説明し、学会ニュース、学会ウェブサイトに掲載する。また、研究代表者は必要に応じて学会ニュース、学会ウェブサイト上で委員を追加募集する。なお、研究委員会は広く会員に開かれたものであることが望ましい。
8. 研究委員会の発足:成立をみた研究委員会は、代表者が中心となって活動を行う。
9. 研究委員会の年限:研究委員会の活動期間は2年とする。ただし、その後1年間の延長を可とする。その場合、研究委員会の代表者は研究の中間報告書と延長する理由書を、副常任委員長に提出しなければならない。
10. 研究費:研究費は、1研究委員会に対して年額10万円を上限とする。予算は研究委員会の成立と同時に執行ができる。
11. 会計報告:会計年度は、立正地理学会の会計年度に準じる。毎年度末に当該年度の収支報告書に領収書を添えて、副常任委員長に提出しなければならない。
12. 研究委員会の終了:研究委員会の終了時には、終了報告書を副常任委員長に提出しなければならない。
13. 成果の公表:研究委員会の活動中にあつては、立正地理学会研究発表大会において、中間報告を行うこと。なお、研究委員会終了後は、口頭発表のほか、『地域研究』にその成果を投稿するものとする。
14. 内規の改廃:本内規は常任委員長または副常任委員長が発議し、評議員会の議を経て行うものとする。

(常任委員長 島津 弘)

## ☆地理学教室だより☆

### ○立正大学地理学科卒業論文発表大会を終えて

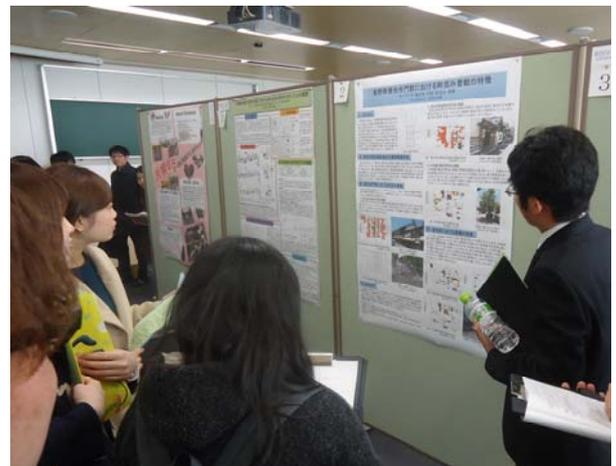
第10回立正大学卒業論文発表大会が2015年2月9日、10日に行われました。1日目にはポスター展示、2日目には口頭発表とポスター発表を行いました。両日天候に恵まれ、多くの方が大会に訪れていました。

各ゼミの代表者6名により、地域振興、防災など様々なテーマに関する口頭発表が行われました。ポスター発表は、日本各地からシンガポールまでを対象に、地形、水文、交通、都市、観光など32件の幅広いテーマが取り上げられていました。発表者は各自ポスターの前に立ち、学生や先生方へ研究成果を説明していました。参加していた1~4年生の学生も活発に質疑応答を行っているのが印象的でした。

本年度で立正大学地理学科の卒業論文発表大会は10回目を迎えました。地理学科の先生方、発表大会に参加して下さった学生、諸先輩方をはじめ支えてくださる多くの皆様に心より御礼申し上げます。ぜひ、来年度の発表大会にも多くの会員の皆様に足を運んで頂きたいと思います。  
(卒業論文発表大会実行委員 吉野恵莉)



口頭発表の様子(武江翔太会員撮影)



ポスター発表の様子(武江翔太会員撮影)

### ○2014年度卒業論文発表大会取材レポート

研究発表に関する広報委員の取材レポートです。

口頭発表事例として森本拓さんが研究された「房総半島小櫃川上流における河床形態からみた穿入蛇行の成因と分布」について紹介する。森本さんは、小櫃川上流地域において河床形態の差異がもたらす穿入蛇行への影響を明らかにすることを目的とされており、その結果、蛇行長と蛇行振幅の相関関係は高く、その形状にも相似が認められたこと、下流に比べ上流の方が左右対称谷が多かったことなどについて述べられていた。森本さんは山地にも蛇行部と直線部があり、それに疑問や興味を持ったためこの研究を行われた。また、現地調査の大切さについて語って下さった。この発表を通して、フィールドワークを行う際は周囲を注視し、様々な事象を深く見ることのできる視点を持てるように心がけたい。

(広報委員 飯山和也)

ポスター発表事例として藤原栄吾さんが研究された「小学校校歌に見られる自然地名からみた地域の特徴－浜松市を事例として－」について紹介する。藤原さんの卒業研究の目的は静岡県西部の浜松市における現存する小学校校歌の歌詞を取り上げ、その歌詞に読み込まれた自然地名と地域との関わりについて明らかにすることである。その結果、浜松市内の小学校は山・川・海・湖・平野といった自然環境に恵まれた地域が多く、校歌にみられた自然地が存在する場所や眺望できる場所に立地していたことが述べられていた。中でも赤石山脈・天竜川などの山と川の自然地名が多く詠われていることが明らかとなった。小学校校歌から郷土性を見いだすために、自然地名を取り上げるという研究手法はとても興味深く、私も今後このような手法を参考にしたいと思った。

(広報委員 松澤希望)

## 卒業論文発表大会に参加して

初めて卒業論文発表大会に参加した私が感じたことは、「苦労はされたであろうけれど、多くの発表者の方々が楽しんで研究をされていた」ということでした。私も3年後には先輩方のように卒業研究を楽しんで行うことができるよう、これから最大限のことを学ぼうと決意しました。4年生時にこの大会で最高の発表ができるよう、今後も精進したいと思います。

(広報委員 飯山和也)

初めて卒業論文発表大会に参加したが、口頭発表では活発な質疑応答が行われていたり、数多くの学生がポスター発表者の発表を熱心に聞いたり、自分が思い描いていた卒業論文発表大会より活気がありました。ポスターを作成するには結果をわかりやすく図化するために表現方法を工夫し、口頭で発表する際にはゆっくりと話してわかりやすく説明するなどの工夫がみられました。口頭発表、ポスター発表それぞれから多くのことを学び、地理学を学ぶ者としてより深く理解できる良い機会でした。

(広報委員 松澤希望)

## ○今年度卒業予定の立正大学地理学科4年生の学生会員の皆様へ

この3月で卒業される学部4年生・院生の会員の方々には、来年度以降も会員として継続されることをお薦め致します。引き続き立正地理学会会員として、学会活動にご参加下さい。学会ニュースやホームページなどで、学会活動の他、地理学教室の情報などを提供していきます。会員継続をぜひご検討下さい。

継続される方は、卒業証書授与式で配布する継続届を記入の上、『地域研究』『学会ニュース』に同封する払込取扱票にて5月末日までに会費をご納入下さい。他大学や大学院などに進学される方は学生会員(年会費2,500円)、それ以外の方は一般会員(年会費4,000円)となります。

## ○会費納入のお願い

2014年度分の会費が未納の方には、今回の学会ニュースに「会費納入状況のお知らせ」と「払込取扱票」を同封しておりますので、ご納入下さい。また、過年度分会費が未納の方は、過年度分もあわせてご納入願います。会費および郵便振替口座の番号・加入者名は下記の通りです。

一般会員 4,000円 学生会員 2,500円  
00130-8-13453 立正地理学会

なお、他の金融機関からお振込みされる際にご指定頂く口座は、以下の通りです。お振込みの際は、振込人氏名が会員ご本人の氏名となっておりますことをご確認頂きますよう、お願い申し上げます。

銀行名	ゆうちょ銀行
金融機関コード	9900
店番	019
店名(カナ)	〇一九店(ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座
口座番号	0013453
カナ氏名(受取人名)	リッショウチリガクカイ

※学会ニュースや地域研究などの送付先の変更が生じましたら、お早めに立正地理学会までご連絡下さい。また、住所変更のご連絡がなく、新住所のみご記入され、氏名のご記入のない場合には、どなたのお振込みか不明となります。ご入金の際は、払込取扱票の払込人住所氏名の欄に必ず住所と氏名をご記入頂きますよう、お願い致します。

※今年度をもって退会を希望される方は、3月末日までにご連絡下さい。ご連絡がない場合は、自動的に次年度継続として、会費の請求を行わせて頂きます。

(庶務会計委員会)

### 編集後記

寒さも少しはゆるみ、春の気配を感じるようになってきました。今年度は学会や卒業論文発表大会などで多くの方々にインタビューを受けていただき、誠にありがとうございました。広報委員2年目の私ですが、紙面充実に一層努めたいと思っておりますので、今後ともインタビューや原稿依頼など、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

(広報委員 飯山和也)

### 立正地理学会ニュース No.113

2015年3月18日発行 編集者 立正地理学会広報委員会  
発行者 立正地理学会 〒360-0194 熊谷市万吉1700 立正大学地理学教室内  
電話 048-539-1672 振替 00130-8-13453